

—令和7年度版—

かんきょうはくじょ

ふるさと環境白書

ゆた

豊かなふるさとを共につくるまち—なかの

中野市環境白書—子ども版—



かんきょうはくしょ 「ふるさと環境白書」について

「ふるさと環境白書」では、「中野市環境白書」を基^{もと}に、今起きている環境問題や中野市の環境を守るための取組^{しょうかい}を紹介しています。

みなさんが中野市の豊かな自然^{ゆた}を守るにはどうすればよいのか、考えてみてください。

環境を守るためには、みなさん一人ひとりが考えて行動することが大切です。その取組が、お家の人^{ちいき}や地域の人たちにも広がれば、中野市はみなさんの素晴らしい故郷^{すばふるさと}になります。

目次

● 中野市 ^{かんきょうきほんけいかく} の環境基本計画	3
● みんなで学び、行動するために	5
● ごみ ^へ を減らし、資源 ^{しげん} を大切にするために	6
● 安全・安心なまちにするために	7
● 豊かな自然を守るために	9
● 地球環境にやさしいまちにするために	11
● みなさんへのメッセージ	13

※この「ふるさと環境白書」は、主に令和6年度^{ないよう}の内容を書いています。

環境を学ぶために

環境について学ぶために、環境省や長野県、中野市のホームページも参考にしてください。
それぞれの活動ごとに環境白書が作られています。

環境省 <https://www.env.go.jp/policy/hakusyo/>

長野県 <https://www.pref.nagano.lg.jp/kurashi/kankyo/hozen/index.html>

中野市 <https://www.city.nakano.nagano.jp/docs/2014011600355/>



かんきょうほぜん

環境保全シンボルキャラクター

ゆたかな中野市の自然をみなさんと一緒につくる「なかのん」です。

音楽とバラと千曲川など豊かな自然が描かれた帽子がお気に入り。

「なかのん」と一緒に環境について学んでいきましょう。



中野市の環境基本計画

中野市では、恵まれた自然環境を守り、これからの子どもたちに引き継いでいくために「中野市環境基本計画」をつくり、市民のみなさんや事業者、中野市が協力して環境を守る取組をしています。

将来の中野市の姿 (めざす環境像)

「緑豊かなふるさとを共につくるまち なかの」



「めざす環境像」を実現するために、5つの目標を定めました。

1 みんなで学び
行動する
まちにします

2 ごみを減らし
資源を大切にする
まちにします

3 安全・安心で
快適に暮らせる
まちにします

4 豊かな自然を
守り育てる
まちにします

5 地球環境に
やさしい
まちにします

5つの目標を達成するための取組のうち、主なものを紹介します。

1 みんなで学び、行動するために (P5)

- 環境教育・環境学習の推進すいしん
- 環境に関する情報の収集や発信じょうほう しゅうしゅう
- 環境活動に対する支援しえん



3 安全・安心なまちにするために (P7~8)

- 有害物質などの監視測定ゆうがいぶつしつ かんしそくてい
- 適正な排水処理の推進てきせい はいすいしより
- 不法投棄などの発生防止対策ふほうとうき はっせいぼうしだいさく



5 地球環境にやさしいまちにするために (P11~12)

- 省エネルギーの推進
- 低炭素型の交通環境の推進ていたんそがた
- 再生可能エネルギー導入の推進さいせいかのう どうにゆう



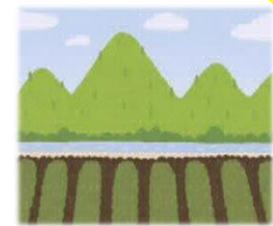
2 ごみを減らし、資源を大切にするために (P6)

- 資源のリサイクル
- ごみの適正な処理てきせい しより
- 食品ロスの減量化げんりょうか



4 豊かな自然を守るために (P9~10)

- 農地や森林の管理
- 外来生物への対策たいさく
- 自然環境を生かした観光・教育



1. みんなで学び、行動するために

中野市では、市民のみなさんが参加する自然観察会などのイベントや、学校の環境学習を行うことによって環境についてみんなが参加して学び、考えて、行動することを目指しています。

みんなが参加!



チョウゲンボウはハヤブサの仲間です

チョウゲンボウ応援団の活動

十三崖のチョウゲンボウ繁殖地の周りで、探鳥会を行い、生態

や営巣の状況、他の野鳥について学びました。

十三崖の崖面での草や樹木の繁茂により、地上性の天敵が

巣穴に接近しないようにするため、低木の伐採を行いました。

※「十三崖のチョウゲンボウ繁殖地」は、チョウゲンボウが集団で繁殖する世界的にもめずらしい場所です。

学校での環境学習

小中学校では、教科学習や栽培活動、社会見学、児童・生徒会活動をととして環境について学んでいます。

動物の飼育や花壇作り、資源回収など幅広い活動で

地域の身近な自然を考える力をつけています。



十三崖のチョウゲンボウ繁殖地の環境整備活動の様子

2. ごみを減らし、資源を大切にするために

日本の一般廃棄物最終処分場の残余年数は、全国平均の23.4年で満杯になると予測されているよ！



可燃ごみの約4分の1を占める生ごみを削減する取組をしました。

また、ごみをきちんと分別することで、ビンや古紙、ペットボトルなどを資源物として回収することができます。

中野市のごみの量は？

令和6年度のごみの量は、およそ1万1000トンでした。

ごみには可燃ごみ、埋立ごみなどのほか、分別すると再利用できる資源物があります。

きちんと分別して再利用できる資源物を増やしましょう。

生ごみを堆肥化するための支援

生ごみを堆肥化する機器の購入費用の一部を助成して、年間100人以上がこの制度を利用しています。

せん定枝粉碎機貸し出し事業

地域のバイオマスであるせん定枝の有効利用を図るため、ウッドチップの貸し出しを行いました。

中野市のごみの量

年 度	ごみの量 (トン)				リサイクル率
	可燃ごみ	埋立ごみ	資源物	計	
R2	10,915	320	1,384	12,619	11.0%
R3	10,812	132	1,319	12,263	10.8%
R4	10,810	133	1,167	12,110	9.6%
R5	10,154	119	1,122	11,395	9.8%
R6	10,060	106	995	11,161	8.9%

※リサイクル率 = $\frac{\text{資源物}}{\text{ごみの量}} \times 100$

資源物回収の取組を紹介します

- スーパーなどの協力で日曜回収を行いました。
- 地域や学校などで資源回収が行われました。
- 高齢者だけの世帯などには個別回収を行いました。
- 陶磁器をリサイクルするため回収を行いました。

3. 安全・安心なまちにするために

公害のない安全なまちにするため、^{こうがいぼうし}公害防止の取組を行いました。

「安心」してらせる
環境をつくろう！



^{くじょう}公害の苦情や相談

公害の苦情や相談を受けて、^{げんいん}原因の^{ちようさ}調査や原因となる
人へ^{しどう}指導や助言を行いました。

年間 40～60件くらい^{けん}苦情や相談があり、ほとんどが^{たいき}大気

^{おせん}汚染（^{やが}野外^{いしようきやく}焼却など）、^{すいしつおだく}水質汚濁（^{あぶら}油もれなど）、

^{あくしゆう}悪臭（^{たいひ}堆肥のにおいなど）です。



野外焼却の現場

^{ふほうとうき}不法投棄などの^{かんし}監視

不法投棄や^{いほう}違法な^{しようきやく}焼却を防ぐため、^{かんきようこうがいぼうししどういん}環境公害防止指導員や

^{えいせいじちかい}衛生自治会のみなさん、^{しよくいん}市の職員が協力して^{じゆんかい}巡回や^{ぼうしかんばん}防止看板

の^{せっち}設置などを行いました。不法投棄は^{はんざい}犯罪で、^{こじん}個人では5年以

下の^{こうきんけい}拘禁刑、1千万円以下の^{ばっきん}罰金などの^{ばっそく}罰則があります。



不法投棄のごみを回収

市民のみなさんが参加して、^{こうきょう し せつ}公共施設や公園、^{じゅうたく い がき}住宅の生け垣などの緑化を進めました。

また、お家からの排水を^{はいすい てきせい しより}適正に処理するため、^{じょうかそう せっち ひょう ほじょ}浄化槽を設置する費用の補助や下水道を^{ふきゅう}普及させる取組を行いました。

排水の適正な処理

^{わたし}私たちの家から出る排水をきれいにしてから川へ流すために、下水道が^{せいび}整備されました。また、下水道へ^{せつぞく}接続していないお家では、浄化槽を設置して^{ただ}正しく管理していくことが必要です。

^{かんきょうそくてい}環境測定

^{すいしつけんさ}水質検査で千曲川や^{よ ませがわ}夜間瀬川、^{はまづが いけ}浜津ヶ池や^{まだらお}斑尾

^{おおいけ}大池、^{おおいけ}井戸の地下水などの^{じょうたい}状態を確認しました。^{かくにん}

車の交通量が多い国道などで、^{そうおんそくてい}騒音測定を行い^{きじゆん}基準より低いことを^{かくにん}確認しました。

緑化活動

市民のみなさんの緑化活動と森林を大切に思う気持ち^{みどりゆた}を育て、緑豊かな^{みどりゆた}住みやすいふるさとにするため、^{ぼ きん}緑の募金で集まったお金を使って^{りよく か なえ}緑化苗木頒布会^{ぎはんぷかい}を開催しました。^{かいさい}



緑化苗木頒布会のようす

4. 豊かな自然を守るために

地域の生態系に悪影響を及ぼす外来生物の駆除や農地の保全など自然環境が失われないような取組をしました。

また、地域の自然環境を身近に感じて、自然環境の大切さを知ってもらう取組を行いました。

外来生物の駆除

市民のみなさんに協力してもらい、特定外来生物の駆除を行いました。また、「広報なかの」でアレチウリやオオキンケイギクの駆除方法などをお知らせしました。

※外来生物は、元々その地域にいない動植物などをいいます。

また、繁殖力が強くその地域の自然環境に悪影響を及ぼす外来生物を国の法律で「特定外来生物」に指定して、持ち運びや栽培などを禁止しています。



アレチウリ（特定外来生物）



クズ（在来種）



オオキンケイギク（特定外来生物）



キバナコスモス（在来種）

農地の保全

農地は、後継者不足などの理由で耕されず
いと、雑草などが生い茂り周辺環境に影響を
及ぼします。農地を使いたい人とのマッチングや、
荒れた農地を再生する活動への支援など、農
地保全を進めました。

ちいきしょくざい 地域食材の利用（地産地消）

みなさんの給食で使われる食材の約6割は、新鮮で安
全な地域の農産物を使っています。みなさんに地元の食
材をおいしく食べてほしいという思いが、農家のみなさんの
励みになり、食物を作るための農地を守ることにつなが
ります。

身近な自然を知ろう！

自然観察会「千曲川ラフティング」

親子や友だちなど、みんなで自然に親しみながら、水辺
の生き物や川の汚れを観察し、自然の大切さを考える
きっかけにすることを目的に、千曲川ラフティングを実施し
ました。



千曲川ラフティングの様子

5. 地球環境にやさしいまちにするために

地球温暖化が進むと異常気象で災害が起きたり生き物が生きられなくなったり、海面が上がって陸が沈んでしまうことなどが考えられるよ

日常生活で消費するエネルギーや資源を削減し、省エネルギー型社会に向けた取組をしました。

また、太陽光やバイオマスなどの再生可能エネルギーを活用する取組を進めました。

環境に配慮した市役所本庁舎

市役所本庁舎の屋上には太陽光発電設備があります。

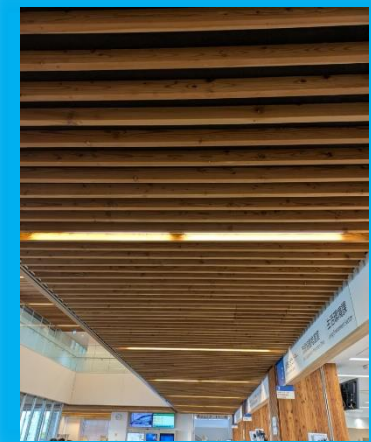
また、断熱性能や空調効率を高めること、自然換気システムを導入することで、緑豊かな中野市の気候風土と調和した建物になっています。ルーバー天井や柱型には本市のシンボルである高社山から切り出したカラマツを使用し、木のぬくもりが感じられます。



市役所本庁舎屋上の太陽光発電設備

公共交通を利用しよう

電車やバスなどの公共交通機関を利用すると、自動車の使用が減り、ガソリンの消費を抑えることができます。中野市公共交通マップや時刻表の作成、バスの停留所を見直すなど市民のみなさんが利用しやすくする工夫を行っています。



高社山から切り出したカラマツを使用したルーバー天井





便利さだけを求める生活を見直し、ものを大切に使い、生産や廃棄によって発生する二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を削減します。

なかのしちきゅうおんだんかぼうしじこうけいかく
中野市地球温暖化防止実行計画

市が行う事務や事業によって排出される温室効果ガスの削減に向けた取組を定めました。

計画では、平成 25 年度に対して令和 12 年度の二酸化炭素の排出量を 60%削減することを目標にしています。

二酸化炭素排出量の削減目標



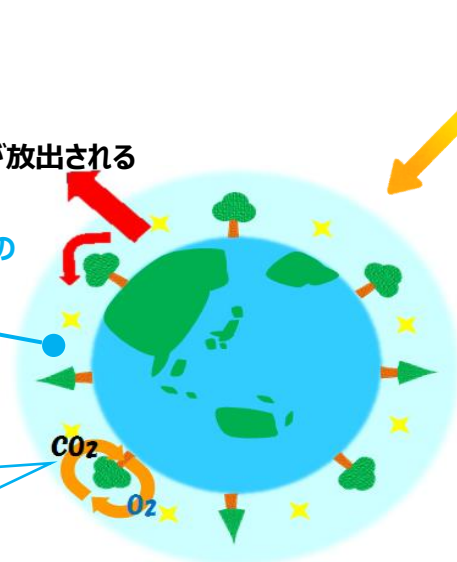
※ 令和 6 年度暫定値は、5,798t-CO2 でした

地球温暖化のしくみ

宇宙に余分な熱が放出される

地球を温めている温室効果ガスの層は適度な濃さでした。

植物は光合成で CO₂ (二酸化炭素) を吸収して O₂ (酸素) を出しています

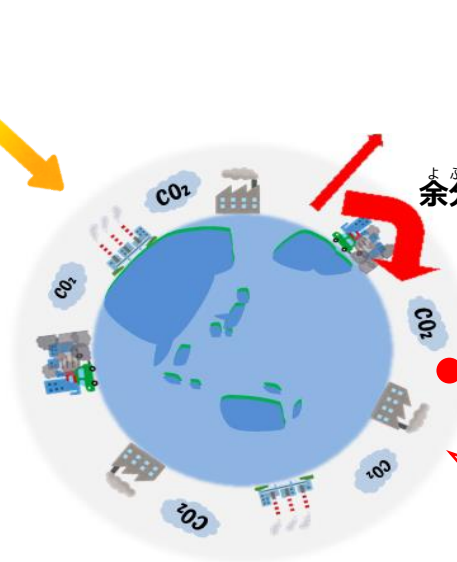


昔は二酸化炭素の排出が少ない暮らしでした

余分な熱が残ってしまう

二酸化炭素などが増えて、温室効果ガスの層が濃くなっています。

工場や自動車が増えました



今は二酸化炭素の排出が多い暮らしになりました

6. みなさんへのメッセージ

かんきょう
環境のために、どんな行動ができるか考えてみてください。

1 みんなで学び、行動するために

みんな参加で環境問題に取り組もう！

環境について学ぼう

ふるさと環境白書を読んで環境問題について調べる

◎大規模な気象災害が多発しているのは地球温暖化が原因の一つとされているよ



環境について考えよう

自分ができることを考えたり、まわりの人と話し合ったりする

◎豊かな未来も想像してみよう
自然や気温はどうなっているだろう？



できることから始めよう

学校や家で自分にできることをやってみる

◎食べ残しを減らすと、水分を多く含む食品の処分に使う多くのエネルギーや温室効果ガスの削減につながるよ



2 ごみを減らし、資源を大切にするために

スリーアール
「3 R」に積極的にチャレンジしよう！

Reduce

使う資源やごみの量を減らす

- ・必要ない包装は断る
- ・エコバックを持ち歩く など



Reuse

ものをくり返し使う

- ・壊れても修理して使う
- ・使わなくなったものは人にあげる など



Recycle

使い終わったものは資源にする

- ・ごみの分別をする
- ・古紙を資源回収に出す など



3 安全・安心なまちにするために

ふほうとうき
不法投棄やポイ捨てをなくそう！

ルールを守ろう

ごみは決められた日に決められた場所へルールを守って出す



関係機関に連絡

ふほうとうき
不法投棄を見つけたときは市役所や警察署へ連絡する



清掃活動に参加

ちいき
地域の清掃活動に積極的に参加する



4

ゆた 豊かな自然を守るために

めぐ 恵み豊かな自然を守り続けよう！

自然にふれよう

自然の中へ出かけて、自然や生き物にふれよう



自然について話をしよう

自然について気づいたことや感じたことを家族や友だちと話してみよう



自然を守ろう

自然や生き物の観察会や保護活動に参加してみよう



5

ちきゅうかんきょう 地球環境にやさしいまちにするために

く暮らしを見直して、一人ひとりが考えて行動しよう！

できることからはじめよう



れいぼう 冷房は 28℃、だんぼう 暖房は 20℃にしてみる



テレビを見る時間を少なくしてみる

友だちや家族とできることを考えよう



家では同じ部屋で過ごす



お風呂は続けて入る

ふるさと環境白書 – 中野市環境白書（子ども版） – 令和 7 年度 –

発行 中野市

へんしゅう 編集

くらしと文化部生活環境課

長野県中野市三好町一丁目 3 番 19 号

電話 : 0269-22-2111

mail : kankyo@city.nakano.nagano.jp





中野市

